

関係者各位

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

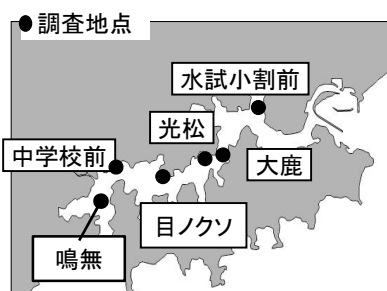
検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で1,040 cells/mL、シャットネラ属が最高で290 cells/mL、ケラチウム属が最高で380 cells/mL、デイクチオカ属が最高で2,600 cells/mL確認されました。

浦ノ内湾全体でカレニア・ミキモイ、シャットネラ属等が赤潮を形成しており、漁業被害が想定される細胞密度を超えていましたので、十分注意してください。海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/mL)

		カレニア・ミキモイ	シャットネラ属	ケラチウム属	デイクチオカ属
鳴無	1m	2	16	22	2,600
	5m	0	0	0	73
中学校前	1m	0	97	210	1,150
	5m	2	2	0	180
目ノクソ	1m	1	290	50	700
	5m	3	5	5	630
光松	1m	240	160	50	1,930
	5m	5	5	2	200
	8m	0	0	0	3
大鹿	2m	1,050	20	100	1,240
	5m	5	1	2	160
	8m	0	0	0	6
水試小割前	1m	1,040	19	380	520
	5m	18	2	1	220



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ： 数百～数千cells/mL（魚類等のへい死）
- ・シャットネラ属： 10～100cells/mL（魚類へい死）
- ・ケラチウム属： 100cells/mL～（餌食いの悪化）
- ・デイクチオカ属： 数千～cells/mL（魚類等のへい死のおそれ有り）